

第9回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日時 平成28年3月22日（火） 10:30～12:00

場所 富士見市役所 第3会議室

出席者 ○市民懇談会参加者

岩本	川上	新井	前田	世羅	狐塚
○	○	欠	○	○	欠
山崎	氣賀澤	佐藤	岡田	守山	矢島
欠	○	○	○	欠	○

○事務局

【地域文化振興課】市川課長、中嶋副課長、荒田主事

【生涯学習課】木村課長、坂本主査

1 開 会

2 議 事

(1) 資料確認

(2) 協議事項

・生涯学習推進基本計画の見直しについて

事務局の作成した取り組みの方向性についてご意見をいただいた。

委員) 基本目標2に指導者の育成、基本目標3に窓口の設置という記述があるが、指導者を育成し、相談できる窓口を設置し、それをさらにより活用しやすい形に変えるというもう一歩先の取り組みが必要ではないか。

事務局) 育成だけではなく、活用もできる事を検討していく。

委員) 基本目標1の一番上の行、地域や行政の協働という表現に違和感がある。

事務局) 市民と行政の協働という表現に修正を行う。

委員) 見直しのコンセプトは一体なんなのか。コンセプトを大切にしながら3つの柱の取り組みを行ってほしい。

委員) 前文に、基本目標に掲載されている基本理念を入れることで、コンセプトを伝えられるのではないか。

事務局) 今回の見直し方法等を前文に加える。

委員) 春から公共施設予約システムが変わる。例えば生涯学習パスポートがその ID カードと連携するなどと言った取り組みはどうか。

事務局) 公共施設予約システムと、生涯学習パスポートの取り組みは別だと考えている。公共施設予約システムの整備については、学習環境の整備として取組の方向性の中にもうたわれている。

委員) 外国人が増えてきている。多文化についての取り組みを入れてもいいのではないか。

事務局) 多文化については、基本目標 2 に該当する。言葉を考えながら多文化の取り組みについて表現を足す。

委員) 難波田城や水子貝塚の活用とあるが、施設の整備なのか、ソフト面の整備なのか？

事務局) 施設の活用と市民学芸員をはじめとしたソフトの活用、両方についての意見をまとめた。

委員) 富士見市の観光マップを作り、サイクルシェアリングを作り、そして、市民学芸員がガイドをするといった夢がある。大きな事に取り組まなければならない。

委員) 水子貝塚や難波田城公園はパンフがあるが、山崎公園はない。よく知り合いに行き方を尋ねられる。

事務局) マップや市の観光の目玉についてご意見があったが、観光アプリがもうすぐ完成する。また、今後紙ベースの観光マップについても今後作成していく予定である。

委員) そんな文言についても、取り組みの方向性に入れてもいいと思う。

委員) 立川では、ららぽーとと昭和記念公園が連動している。富士見でも、ららぽーとに来た方が地域の特色に触れられる仕組みを考えてもいい。

委員) 水子貝塚で復元住宅の組み立てをやったが、30人くらいしか来なかった。水子貝塚も国指定史跡になりもうすぐ50年。市民発掘会を行うなど市全体としてもりあげたいと思っている。HP で周知をするにしても、わかりづらい。イベント情報を HP のわかりやすい場所に掲載するといった工夫が必要。

委員) 基本目標 2 に地域の特性を意識した、日常生活の安心・安全の確保についてという記載があるが、これは食文化についても含まれるのか。

事務局) 広い意味では、食文化も入っている。

委員) 基本目標 2 に郷土資源を児童・生徒が積極的に活用できる仕組みづくりとあるが、郷土資源については具体的な資源を 2、3 個掲載した方がわかりやすいのではないか。

委員) 基本目標 3 の 3 行目、イベント情報等の掲載という記述があるが、ここだけ掲載という表現になり、違和感がある。

事務局) 発信や提供といった表現に変更する。

委員) 基本目標 3 の 4 行目、学習環境の整備、確保、保障とあるが、生涯学習という表現を最初につけたほうがいい。

事務局) 修正する。

委員) 基本目標 3 の一番下、活動を通じたコミュニケーションづくりとあるが、活動を通じたコミュニティづくりが正しいのでは？

事務局) 修正する。

(3) その他

- ・パブリックコメントについて、庁内委員会等でも議論し、来年度に実施することとした旨を報告した。
- ・富士見市 PR 大使委嘱式と、地域活性化組織勉強会のご案内を行った。

3 閉 会 岩本座長

以上